

5月10日(日)「第19回カーネーションカップ」(BG3)の結果 ～カフカ号がダイヤカツヒメ号とのゴール前の競り合いを制し2連覇を飾る！～

2026年5月10日(日)に行われた「ダスキンオビヒロ賞第19回カーネーションカップ」(3歳以上牝馬オープン・BG3)は、昨年覇者のカフカ号がダイヤカツヒメ号とのゴール前の競り合いを制し優勝しました。

馬場水分1.7%で行われた本レース。第一障害をダイヤカツヒメ号、パワフルクイーン号が勢いよく越えましたが、パワフルクイーン号が先行。道中はそれを追走する形でスカーレット号、ダイヤカツヒメ号、カフカ号、クリスタルイブセ号らが続きます。

第二障害手前で、後続各馬も徐々にペースを上げるなか、果敢に先行するパワフルクイーン号が先頭で到達。ひと息入れたのち、全馬が第二障害下に揃う前に登坂を開始しましたが、障害途中で苦戦。その間に仕掛けたカフカ号が力強く先頭で障害をクリア。ダイヤカツヒメ号、パワフルクイーン号、クリスタルイブセ号が続きます。

障害を下りた勢いでダイヤカツヒメ号が先頭に並びかけますが、カフカ号も譲らず、わずかにリードを保ったまま残り20m付近へ。ここで2頭がぴったりと並び、激しいデッドヒートを繰り広げます。競り合いの末、わずかに抜け出したカフカ号が先頭でゴール。見事、昨年に続く同レース2連覇を達成しました。

2着にはダイヤカツヒメ号が入り、3着にはクリスタルイブセ号が入りました。

カフカ号を管理する金田勇調教師は「カーネーションカップ」をこの馬で制した昨年に続く2連覇。騎乗した金田利貴騎手は初制覇となりました。

記

<カフカ号のプロフィール> ※2026年5月10日現在

生年月日・毛色：2021年4月20日(牝5歳・栗毛)

血統：父 インフィニティー 母 コハル (母父) ケンジュオー

生産者：加納 詩織氏

馬主：高橋 健二氏

厩舎：金田 勇厩舎

通算成績：58戦13勝(うち重賞4勝)



カフカ号(左)とダイヤカツヒメ号(右)

【金田勇調教師のコメント】

厳しい競り合いを良く勝ってくれました。ホッとしています。

去年までは折り合いをつけるのが難しい馬だったので、その点を修正し、今シーズンは良い結果を出せればと思っていました。

状態も良かったですし、いつもとは違うハミを使って馬をしっかり止められるようになったことが、今日の勝利につながったと思います。

重量については、去年の経験から行けると思っていました。折り合いも良く、この馬の良さを引き出したレースだったと思います。

何度もレースに出せるクラスではないので、今後はしっかりと見極めながら使っていきたいと思います。

牝馬として、これからも上位で活躍できたらと思っていますので、応援よろしくをお願いします。

【金田利貴騎手のコメント】

勝たせてもらったという感じなので、この馬に関わった全ての方に感謝したいと思います。

レース前はいろいろと考えていましたが、実際のレースでは考えたとおりに運ぶことができたと思います。

いつもは後手を踏みがちなのですが、今日は良い感じで第一障害を越えることができました。重量はそれほど心配をしていなかったのですが、意外と馬が進まない難しい馬場でした。

第二障害を下りてからは、これで負けても仕方がないと思えるほどの競り合いです。あとは馬がどこまで頑張ってくれるかと思いましたが、並びかけられてから、さらに強く踏み込んでくれたという感じがしました。

(本日が母の日ということでお母様へ) いつも頼りなく見えていると思いますが、笑ってくれてありがとうございます。強いところと優しいところを尊敬しています。これからもよろしくお願いします。

(ファンの皆様へ) カフカが良いスタートを切れたので、今後もヒロインズカップなどに向かって頑張っていきたいと思っています。応援よろしくをお願いします。

以 上

<報道関係者 各位>

ご不明な点がございましたら以下までご連絡ください。

なお、掲載の写真等をご使用の際は【提供：ばんえい十勝】のクレジットの記載をお願いいたします。

ばんえい十勝 広報担当 藤田・中村・高尾

〔電話〕帯広競馬場 0155-34-0825(代)

※火・水曜除く9:30～18:15 ナイター開催日(土・日・月)12:30～21:15

〔ばんえい十勝公式ホームページ〕<https://www.banei-keiba.or.jp/>